

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業効果検証

(単位:千円)

No	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	経済対策との関係	事業始期	事業終期	総事業費	交付金			事業効果・検証 ①効果(具体的な数値、実績等を踏まえて) ②検証(事業評価)
							国庫補助額	交付金 充当経費	その他	
1	感染症予防啓発	①市の感染症支援策の周知 ②広告掲載費に充当 ③地元新聞への広告掲載 330千円×1回 ④全世帯約13,500世帯	I-6. 情報発信の 充実	R2.4	R3.3	330		330	-	①地元新聞へ新型コロナウイルスに関する広告を掲載した。 ②市民に対し新型コロナウイルスについて周知することで、感染防止につながった。
2	市役所等窓口飛沫防止フィルム設置及び分散勤務対応	①来庁者、市役所職員の感染防止 ②飛沫防止フィルム、電話増設経費に充当 ③市役所等窓口飛沫防止フィルム設置 550千円 市職員分散勤務のための電話増設 95千円 ④市役所内で設置	I-1. マスク・消毒 液等の確保	R2.4	R3.3	645		645	-	①来庁者・職員の感染防止対策として、飛沫防止フィルムを設置した。また職員の分散勤務を行った。 ②取り組みを通して来庁者・職員の感染拡大防止を図ることができた。
3	消毒液等消耗品購入	①市役所、保育園等施設での感染防止 ②消毒液等購入経費に充当 ③消毒液1688 399千円、消毒液容器560円×251本=141千円 ④市役所、保育園等へ配布	I-1. マスク・消毒 液等の確保	R2.4	R3.3	518		500	-	①施設の消毒を定期的の実施した。 ②消毒実施で、感染拡大防止を図ることができた。
4	市役所等窓口混雑解消のための郵送受付	①児童手当現況届の郵便提出による市役所内での感染防止 ②封筒印刷、郵便料に充当 ③児童手当現況届の郵送受付 3,000通 返信用封筒印刷 25千円 郵便料 200千円 ④児童手当受給者約3,000人	I-1. マスク・消毒 液等の確保	R2.4	R3.3	224		224	-	①児童手当の現況届について、郵便での提出とした。 ②郵便での提出とすることで、来庁者・職員の感染拡大防止を図ることができた。
5	子育て世代生活支援給付金事業	①子育て世帯への生活支援 ②子育て世帯への給付費と関連事務費に充当 ③商品券引換券印刷 58千円 郵便料 1,176千円 児童扶養手当受給世帯生活資金給付178世帯×30千円=5,340千円 18歳以下生活支援商品券給付費5,875人×10千円=58,750千円 ④児童扶養手当受給世帯、18歳以下保育保護者	I-8. 学校の臨時 休業等を円滑に進めるための環境整備	R2.4	R2.6	65,323		65,323	-	①児童扶養手当受給世帯、18歳以下の保護者に対し商品券を給付した②商品券を給付することで児童・生徒の学校の臨時休業を円滑に進められ、感染拡大防止を図ることができた。
6	全世帯配布用マスク購入事業	①市内の感染拡大防止のため、全世帯配布用のマスクを購入 介護施設等配布用防護服の購入 ②マスク、マスク交換業者、業者印刷費に充当 ③13,500世帯 212万枚 98,373千円 マスク交換業者印刷費188千円 郵便料846千円 防護服300枚 96千円 ④全世帯、介護施設等	I-1. マスク・消毒 液等の確保	R2.4	R3.3	100,351		99,503	-	①市民の感染防止対策としてマスクを全世帯に配布した。 ②取り組みを通して市民の感染拡大防止を図ることができた。
7	商工業振興対策事業	①中小企業等への支援 ②石川県感染防止対策防止協力負担金、商工会補助金、利子補給助成金、信用保証助成金に充当 ③石川県感染防止対策防止協力負担金 県支出2,000千円の1/3を市が負担 (法人上限500千円×36件+個人上限200千円×74件)×1/3=10,933千円 飲食店支援 「イケア」新聞折込 商工会へ1/2助成 (新聞折込印刷費501千円+会員郵送料11千円)×1/2=255千円 利子補給助成金 2件 213千円 信用保証助成金 上限500千円×0件=0千円 ④中小企業、個人事業者	II-3. 事業継続に 困っている中小・小規模事業者等への 支援	R2.4	R3.4以降	12,365		11,401	-	①中小企業、個人事業者に対し新型コロナウイルスに伴い発生した各種負担金等の一部を助成する。 ②助成を行い感染防止対策への協力企業や事業者を増やすことで感染防止を図ることができた。
10	老人福祉施設管理費	①老人センター内での感染防止 ②体温計、加温空気清浄機購入経費等に充当 ③フェイスガード50個 17千円 電子体温計10本 16千円 非接触型温度測定器6台 55千円 手指消毒液5本(250ml) 10千円 消臭除菌水2箱 53千円 空気清浄機3台 125千円 ④市老人センター3施設	I-1. マスク・消毒 液等の確保	R2.5	R3.3	301		275	-	①老人センターの感染対策備品を購入した。 ②取り組みを通して老人センターの感染拡大防止を図ることができた。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業効果検証

(単位:千円)

No	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	経済対策との関係	事業始期	事業終期	総事業費	交付金			事業効果・検証 ①効果(具体的な数値、実績等を踏まえて) ②検証(事業評価)
							国庫補助額	交付金充当経費	その他	
11	市施設内での感染防止	①健康センター、体育施設、中央図書館内での感染防止 ②体温感知用サーモグラフィ購入経費に充当 ③1,100千円×4機=4,400千円 ④健康センター、体育施設、中央図書館	I-1. マスク・消毒液等の確保	R2.5	R3.3	4,406		4,400	-	①健康センター、体育施設、中央図書館の感染対策備品を購入した。 ②取り組みを通して健康センター、体育施設、中央図書館の感染拡大防止を図ることができた。
12	事業継続緊急給付金	①中小企業等への支援 ②事業継続緊急給付金に充当 ③事業収入前年同月比30%減の中小企業者等への支援 200千円×法人400社=80,000千円 100千円×個人200人=20,000千円 ④中小企業、個人事業者	II-3. 事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	R2.5	R3.3	100,000		100,000	-	①中小企業、個人事業者に対し事業継続緊急給付金を給付する。 ②給付を行い感染防止を図ることができた。
13	公共施設・避難所用 消毒液等消耗品購入	①市内公共施設内、災害発生時の避難所での感染防止 ②以下購入費に充当 ③消毒液4902701千円、防護手袋3.3円×4,000枚=14千円、 非接触型体温計51千円×12機=36千円、 フェイスシールド200円×400枚=80千円、 防護服325円×200枚=65千円、帽子24円×200枚=4千円 避難所パーテーション31,900円×100枚=3,190千円 ④市内公共施設、避難所備品127千円	I-1. マスク・消毒液等の確保	R2.5	R3.3	4,284		4,279	-	①市内公共施設及び避難所の感染防止対策備品を購入した。 ②取り組みを通して感染拡大防止に備えることができた。
16	GIGAスクール1人1台 PC購入	①1人1台PCの実現 ②生徒1台/3人、教師用端末購入費、PC初期設定費に充当 ③PC42,790千円(生徒1台938台+教師用PC121台)=45,315千円 PC初期設定費(1,000円×2,980台+基本設定費300千円)×1.1=3,608千円 ④小学6校、中学3校	I-8. 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備	R2.6	R3.3	48,923		48,923	-	①市内小中学校生徒に対し、PC端末を配備した。 ②PC端末を配備しオンライン授業環境を整えることで、ICT環境を十分に活用した授業を展開することができた。
17	学校保健特別対策事業 事業補助金	(感染症対策のためのマスク等購入支援事業) (学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業) ①家庭学習等への支援と学校内での感染予防 ②児童生徒用教材費、郵便料他以下に充当 ③小中学教材、消毒液、石鹸、体温計、学校・スクールバス用非接触型体温計、体育館用大型冷風扇、保健室用空気清浄機、 感染予防消耗品、検診用消耗品、洗濯乾燥機、持ち運び用音響装置、プロジェクター、給食配膳室エアコン、デジタル教材費、教師用PC(5台/校)等 小学校14,100千円 中学校10,844千円 ④小学6校、中学3校	I-1. マスク・消毒液等の確保	R2.4	R3.3	26,498	12,472	12,472	-	①学校保健特別対策事業に係る消耗品及び備品購入等により新型コロナウイルス感染症対策を行った。 ②市内小中学校における感染症対策を行い、生徒の学習保障等を図ることができた。
19	プレミアム付き商品券 交付	①市内での消費喚起 ②12千円分の商品券を10千円で販売し、その差額(プレミアム分)と事業執行に係る事務費分を商工会へ補助する経費に充当 ③プレミアム分 商品券販売額500,000×20%=100,000千円 事務費分14,000千円 商品券等印刷費9,611千円、引換券819千円、郵送料25千円 商品券販売手数料50円×50,000冊=2,500千円、 販売業務人件費 100千円×3月×3人=900千円 携帯電話レンタル料55千円、事務用消耗品費90千円 ④全市民	III-2. 地域経済の活性化	R2.6	R3.3	114,000		114,000	-	①市商工会へプレミアム付商品券発行経費とプレミアム分の経費を補助した。 ②商品券を発行することで、新型コロナウイルスで打撃を受けた市内事業者を支援することができた。
20	町会区感染予防備品 購入支援	①町会活動、公民館活動における感染予防 ②町会活動における感染予防備品購入への助成と非接触型電子温度計の購入費用に充当 ③各地区のコロナ対策へ100千円を限度に支援 上限100千円 55町会区2,230千円 各町会非接触型電子温度計の配布 55町会区500千円 ④全町会区	I-1. マスク・消毒液等の確保	R2.7	R3.3	2,783		2,760	-	①市町会区に対し感染防止対策用消耗品及び備品購入等により新型コロナウイルス感染症対策を行った。 ②町会区における感染症対策を行い、町会区の事業実施の際の感染拡大防止を図ることができた。
21	確定申告時の感染予 防対策	①確定申告会場での感染予防 ②確定申告時の窓口飛沫防止パーテーション、サーキュレーター の購入費に充当 ③パーテーション 40個382千円 サーキュレーター 1台81千円 消毒液等24千円 ④七塚健康福祉センター	I-1. マスク・消毒液等の確保	R2.7	R3.3	509		487	-	①確定申告会場における感染症防止対策用備品購入等により新型コロナウイルス感染症対策を行った。 ②確定申告会場における感染症対策を行い、職員・来庁者の感染拡大防止を図ることができた。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業効果検証

(単位:千円)

No	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数・単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	経済対策との関係	事業始期	事業終期	総事業費	国庫補助額	交付金 充当経費	その他	事業効果・検証 ①効果(具体的な数値、実績等を踏まえて) ②検証(事業評価)
22	公共施設・避難所用 消毒液等消耗品購入	①第2、3波に備えた感染予防 ②公共施設、医療機関、介護施設等の配布用備品、避難所用 備品の購入費に充当 ③感染対策に係る衛生用品の購入 消毒液80本(4850)453千円 避難所用防護衣418円×1,000枚=418千円 防護キャップ11円×1,000枚=11千円 感染対策キット3,866円×200セット=773千円 フェイスシールド200円×160枚=32千円 手袋1,400枚17千円 避難所9箇所の換気対策 工場扇10,318×36機(各4)=372 コードリール1,562×36個=57 開仕切り用資材423千円 ④公共施設、医療機関、介護施設等、避難所	I-1. マスク・消毒 液等の確保	R2.7	R3.3	2,558		2,556		①市内公共施設、医療機関等及び避難所の感染防止対策備 品を購入した。 ②取り組みを通して感染拡大防止に備えることができた。
23	赤ちゃんすくすく特別 定額給付金	①4/28以降出生者への特別定額給付金100千円給付 ②給付金に充当 ③出生見込数250人×100千円=25,000千円 ④新生児保護者	II-4. 生活に困っ ている世帯や個人 への支援	R2.7	R3.3	24,800		24,800		①特別定額給付金の対象とならない4/28以降の出生者への給 付を行った。 ②特別定額給付金の対象外となった新生児に給付金を給付 し、より多くの子育て世帯を支援することができた。
24	100歳体操グループの 活動支援と介護認定 審査会等リモート会議	①いきいき百歳体操実施グループ活動での感染防止、及び活 動支援と介護保険認定審査会等での感染予防 ②いきいき百歳体操実施グループへの配布用消毒液、非接触 型体温計購入費と家庭で行える百歳体操のDVD製作費、介 護保険認定審査会等リモート会議システム購入費に充当 ③いきいき百歳体操実施グループ活動での感染防止 消毒液2,500円×45グループ=113千円 非接触型体温計10千円×45グループ=450千円 家庭で行える百歳体操のDVD製作費700千円 介護保険認定審査会等リモート会議システム1,000千円 ④いきいき百歳体操実施グループ、市役所、介護保険認定審 査会	I-1. マスク・消毒 液等の確保	R2.7	R3.3	2,230		2,230		①いきいき百歳体操実施グループ、介護保険認定審査会に感 染症対策消耗品及び備品を購入した。 ②取り組みを通して感染拡大防止を図ることができた。
25	事業継続緊急給付金 (期間延長)	①No.12の期間延長(事業収入減少月1~6月+7~12月) 中小企業等への支援 ②事業継続緊急給付金に充当 ③事業収入前年同月比30%減の中小企業者等への支援 200千円×法人200社=40,000千円 100千円×個人100人=10,000千円 ④中小企業、個人事業者	II-3. 事業継続に 困っている中小・小 規模事業者等への 支援	R2.7	R3.3	44,400		44,400		①中小企業、個人事業者に対し事業継続緊急給付金を追加で 給付する。 ②追加給付を行い感染防止を図ることができた。
26	図書館内での感染予 防対策	①図書館内での感染予防 ②以下購入費に充当 ③新聞閲覧室用飛沫感染対策アクリル板設置283千円 貸出図書消臭抗菌・紫外線殺菌機1台865千円 図書館仕稼除菌洗浄液6,040円×2816本=107千円 その他消耗品47千円 ④図書館	I-1. マスク・消毒 液等の確保	R2.7	R3.3	1,309		1,302		①図書館に感染症対策消耗品及び備品を購入した。 ②取り組みを通して感染拡大防止を図ることができた。
27	消防・救急業務感染 予防対策	①消防・救急業務にあたる消防職員の感染予防 ②以下購入費に充当 ③人工呼吸器回路40,150円×5組=201千円 感染防止衣1,705円×400着=682千円 N95マスク2,750円×2,000枚=550千円 フェイスシールド8,800円×10箱=88千円 消毒用オゾン水生成装置1機 2,627千円 ペイジエンシールド36,520円×5台=183千円 人工蘇生器一式55,440円×5式=278千円 非接触赤外線体温計16,200円×6個=81千円 ④消防本部	I-1. マスク・消毒 液等の確保	R2.7	R3.3	4,619		4,619		①消防職員用に感染症対策消耗品及び備品を購入した。 ②取り組みを通して感染拡大防止を図ることができた。
28	水道基本料金の減免	①市民生活への支援 ②水道基本料金(6~9月減免分)の水道事業会計操出金に充 つた ③水道基本料月平均22,000千円×4月=88,000千円 ④上水道利用者	II-4. 生活に困っ ている世帯や個人 への支援	R2.7	R2.10	88,000		88,000		①水道基本料金4か月分を減免した。 ②新型コロナウイルス感染症により経済的な影響を受ける町民 等を支援することができた。
29	医療福祉事務所向け 感染症対策補助金	①医療機関、障害者福祉施設の衛生用品等の購入支援 ②石川県の新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金を 受けた事業者で交付金を上回る部分の100千円を限度に交付す る補助金に充当 ③医療機関26、障害福祉施設27 100千円×53箇所=5,300千 円 ④市内医療機関、障害福祉施設	II-3. 事業継続に 困っている中小・小 規模事業者等への 支援	R2.9	R3.3	3,158		3,158		①医療機関及び障害者福祉施設が購入する感染症対策消耗 品及び備品に係る経費を補助した。 ②取り組みを通して感染拡大防止を図ることができた。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業効果検証

(単位:千円)

No	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	経済対策との関係	事業始期	事業終期	総事業費	国庫補助額	交付金 充当経費	その他	事業効果・検証 ①効果(具体的な数値、実績等を踏まえて) ②検証(事業評価)
30	介護事業所向け感染症対策補助金	①介護事業所の衛生用品等の購入支援 ②石川県の新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金を受けた事業者で交付金を上回る部分の100千円を限度に交付する補助金に充当 ③介護保険事業所 100千円×40箇所=4,000千円 ④市内介護保険事業所	Ⅱ-3. 事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	R2.9	R3.3	2,288		2,288		①介護施設が購入する感染症対策消耗品及び備品に係る経費を補助した。 ②取り組みを通して感染拡大防止を図ることができた。
31	タクシー、理美容事業者感染症対策補助金	①タクシー、理美容事業者の感染予防対策物品購入支援 ②タクシー、石川県の感染症拡大防止対策支援金を受けた事業者で交付金を上回る部分に、15千円/車両1台を限度に交付理美容、同交付金を受けた事業者で交付金を上回る部分に、50千円を限度に交付する補助金に充当 ③タクシー15千円×10台=150千円 理美容50千円×15事業所=750千円 ④市内タクシー、理美容事業者	Ⅱ-3. 事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	R2.9	R3.3	654		654		①タクシー及び理美容事業者が購入する感染症対策消耗品及び備品に係る経費を補助した。 ②取り組みを通して感染拡大防止を図ることができた。
32	プレミアム付き商品券交付(追加)	①No.19の追加交付(500,000千円分の事前申込で打切り予定だったものを期間中の申込者全員に支給する追加)市内での消費喚起 ②12千円分の商品券を10千円で販売し、その差額(プレミアム分)と事業執行に係る事務費分を商工会へ補助する経費に充当 ③プレミアム分 商品券販売額72,100×20%=14,420千円 事務費追加分2,400千円 商品券等印刷費等事務費2,039千円 商品券販売手数料50円×7,210冊=361千円、 ④全市民	Ⅲ-2. 地域経済の活性化	R2.9	R3.3	16,590		16,590		①市商工会へプレミアム付商品券発行経費とプレミアム分の経費を補助した。 ②商品券を発行することで、新型コロナウイルスで打撃を受けた市内事業者を支援することができた。
33	修学旅行中止経費	①中学生の修学旅行中止に伴う旅行企画費(キャンセル料)及び代替送経費支援 ②中学校の修学旅行企画費、代替送経費に充当 ③修学旅行企画費3校分1,287千円 代替送経費3校分1,208千円 ④中学校	Ⅰ-8. 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備	R2.9	R2.11	2,494		2,494		①中学生の修学旅行の中止対応において生じたキャンセル料等の費用を支援した。 ②支援することで、修学旅行に係る保護者負担の負担を軽減できた。
34	市所有バスの抗原・抗ウイルス加工経費	①福祉バス、市営バス、老人センター送迎バス、スクールバス利用者の感染防止 ②市所有バスの抗菌・抗ウイルス加工経費に充当 ③中型車、マイク13台1,199千円 ④福祉バス、市営バス、老人センター送迎バス、スクールバス	Ⅰ-1. マスク・消毒液等の確保	R2.9	R3.1	634		634		①市所有バスの感染症対策消耗品及び備品を購入した。 ②取り組みを通して感染拡大防止を図ることができた。
36	土地家屋台帳履歴管理システムの導入	①登記事項要約書、登記済通知書(法務局)のオンライン受領による税務課職員の接触を減じる感染予防 ②土地家屋台帳履歴管理システムの導入経費 ③土地家屋台帳履歴管理システムの導入経費4,414千円 ④市役所	Ⅰ-1. マスク・消毒液等の確保	R2.10	R3.3	4,417		4,414		①登記に係る事務のオンライン化を進めた。 ②市役所職員、法務局職員の接触機会を削減することができた。
37	子ども・妊婦インフルエンザ予防接種の無償化	①新型コロナウイルスとインフルエンザの重複罹患の防止 ②18歳以下の子どもと妊婦のインフルエンザ予防接種の無償化(例年助成の上乗せ) ③(12歳以下1,971人×3千円×2回)+(13~18歳 703人×3千円)+(妊婦280人×3千円)-当初予算額4,030千円 ④18歳以下、妊婦市民	①-Ⅱ-4. 生活に困っている世帯や個人への支援	R2.10	R3.3	16,434		10,745		①新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行に備え、妊婦及び18歳以下の子どもに対しインフルエンザ予防接種の助成を行った。 ②助成を行うことで、妊婦の季節性インフルエンザ感染の予防、重症化の予防につながった。
38	公共施設・避難所用消毒液等消耗品購入	①No.19に追加する災害発生時の避難所での感染防止対策 ②以下購入費に充当 ③避難所用簡易ペット200台×10,320円=2,064千円 ④市内公共施設、避難所	Ⅰ-1. マスク・消毒液等の確保	R2.10	R3.1	2,068		2,064		①市内公共施設及び避難所の感染防止対策備品を購入した。 ②取り組みを通して感染拡大防止に備えることができた。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業効果検証

(単位:千円)

No	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数・単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	経済対策との関係	事業始期	事業終期	総事業費	事業費の内訳			事業効果・検証 ①効果(具体的な数値、実績等を踏まえて) ②検証(事業評価)
							国庫補助額	交付金 充当経費	その他	
39	宇野駅西口ふれあい館 待合室手洗器設置	①市が管理するJR宇野駅西口待合室での感染防止対策 ②以下に充当 ③手洗器設置工事費 198千円 ④JR宇野駅西口	I-1. マスク・消毒液等の確保	R2.10	R2.12	198		198		①宇野駅西口待合室に手洗器を設置した。 ②取り組みを通して感染拡大防止を図ることができた。
40	市内公共施設手洗自動化	①88施設(公民館・集会場・小中学校、こども園、老人センター・市庁舎等)302箇所の手洗器自動化 ②以下に充当 ③手洗器設置工事費一式 20,000千円 ④市内88施設	I-1. マスク・消毒液等の確保	R2.10	R3.3	19,610		19,610		①市内公共施設・公民館・集会場等の手洗器を自動化した。 ②取り組みを通して感染拡大防止を図ることができた。
41	こども園登園管理システム導入	①こども園での接触機会削減による感染防止 ②こども園登園管理システムの導入費、使用料 ③市立3箇分 タブレット端末45台購入1,666千円 WiFi設定委託751千円 登園管理システム使用料977千円 通信料92千円 ④市立8園	I-1. マスク・消毒液等の確保	R2.10	R3.3	4,344		3,486		①市内こども園に接触機会削減のためタブレット端末を購入した。 ②取り組みを通して感染拡大防止を図ることができた。
42	消防・救急業務感染予防対策2	①消防・救急業務にあたる消防職員の感染予防 ②以下に充当 ③医療廃棄物処理委託3,500円×20箱×1.1=77千円 乾燥機能付きオゾン殺菌庫522,500円×2台=1,045千円 医療廃棄物容器ホルダー23,540円×2台=48千円 ④消防本部	I-1. マスク・消毒液等の確保	R2.10	R3.3	1,078		1,078		①消防職員用に感染症対策消耗品及び備品を購入した。 ②取り組みを通して感染拡大防止を図ることができた。
43	プレミアム付商品券事業(第2弾)	①市内での消費喚起 ②13千円分の商品券を10千円で販売し、その差額(プレミアム分)と事業執行に係る事務費分を商工会へ補助する経費に充当 ③プレミアム分 商品券販売額500,000×30%=150,000千円 商品券等印刷費10,230千円 商品券販売手数料50円×50,000冊=2,500千円、 販売業務人件費100千円×3月×3人=900千円 事務用消耗品等570千円 ④全市民	Ⅲ-2. 地域経済の活性化	R2.10	R3.3	164,000		164,000		①市商工会へプレミアム付商品券発行経費とプレミアム分の経費を補助した。 ②商品券を発行することで、新型コロナウイルスで打撃を受けた市内事業者を支援することができた。
45	無観客イベント開催支援	①市内で開催される無観客イベントを主催する団体にライブ配信用の貸借機材を貸付 ②カメラ等購入費 ③カメラ等周辺機器 130×2セット=260千円 ④体育協会、文化協会等	①-Ⅲ-2 地域経済の活性化	R2.12	R3.3	188		188		①無観客イベント用のライブ配信機材を購入した。 ②取り組みを通して感染拡大防止を図ることができた。
46	確定申告時の感染予防対策2	①確定申告会場の受付管理システム導入による接触回避 ②受付管理システムの購入とシステム使用・通信料 ③iPad用スタンド・大画面モニター等購入費175千円 WiFi・アプリ使用料56千円 ④七塚健康福祉センター	I-1. マスク・消毒液等の確保	R2.12	R3.3	232		231		①確定申告会場における感染防止対策用備品購入等により新型コロナウイルス感染症対策を行った。 ②確定申告会場における感染症対策を行い、職員・来庁者の感染拡大防止を図ることができた。
48	デジタル教科書の購入	(学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業) ①GIGAスクールに対応したデジタル教科書の購入 ②以下に充当 ③デジタル教科書 1,621千円×中3校=4,863千円 ④小学6校、中学3校	I-8. 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備	R2.12	R3.3	4,729		4,729		①市内小中学校生徒が使用するデジタル教科書を購入した。 ②オンライン授業環境を整えることで、ICT環境を十分に活用した授業を展開することができた。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業効果検証

(単位:千円)

No	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	経済対策との関係	事業始期	事業終期	総事業費	事業費			事業効果・検証 ①効果(具体的な数値、実績等を踏まえて) ②検証(事業評価)
							国庫補助額	交付金 充当経費	その他	
49	プレミアム付商品券事業(第2弾追加)	①No.43の追加交付 ②13千円分の商品券を10千円で販売し、その差額(プレミアム分)と事業執行に係る事務費分を商工会へ補助する経費に充当 ③プレミアム分 商品券販売額300,000×30%=90,000千円 事務費追加分7,447千円 商品券等印刷費、商品券販売手数料、販売業務人件費、事務用消耗品等 ④全市民	Ⅲ-2. 地域経済の活性化	R2.12	R3.3	90,678		54,654		①市商工会へプレミアム付商品券発行経費とプレミアム分の経費を補助した。 ②商品券を発行することで、新型コロナウイルスで打撃を受けた市内事業者を支援することができた。
51	公共施設・避難所用消毒液等消耗品購入4	①次波に備えた感染予防 ②公共施設、医療機関、介護施設等の配布用備品、避難所用備品の購入費に充当 ③感染対策に係る衛生用品の購入 アルコール消毒液 880本(10、42、50)3,471千円 フェイスマスク1,837円×60施設×10セット=1,103千円 ケースヤップ1,100円×60施設×2箱=132千円 保護用手袋1,320円×60施設×4箱=317千円 アイソレーションガン41,800円×60施設×1箱=2,508千円 ④公共施設、医療機関、介護施設等、避難所	I-1. マスク・消毒液等の確保	R3.2	R3.3	7,543		7,530		①市内公共施設、医療機関等及び避難所の感染防止対策備品を購入した。 ②取り組みを通して感染拡大防止に備えることができた。
52	生活保護訪問支援システムの導入	①生活保護者との接触時間削減による感染防止 ②生活保護訪問支援システムの導入費、使用料 ③生活保護訪問支援システムの導入費972千円 機用兼保守料338千円 ④生活保護世帯	I-1. マスク・消毒液等の確保	R3.2	R4.3	1,197		1,197		①生活保護に係る事務のシステム化を進め、接触時間を削減した。 ②市役所職員と来庁者の接触機会を削減することができた。
53	消防・救急業務感染予防対策3	①消防・救急業務にあたる消防職員の感染予防 ②以下に充当 ③オゾン関連救急消耗品(オゾン分解材等)214千円 救急資機材消耗品(担架用救急シート等)642千円 ④消防本部	I-1. マスク・消毒液等の確保	R3.2	R3.3	808		808		①消防職員用に感染症対策消耗品及び備品を購入した。 ②取り組みを通して感染拡大防止を図ることができた。
54	学校保健特別対策事業費補助金	(感染症対策等支援事業の学校教育活動継続支援事業) ①学校活動の継続支援 ②保健衛生用品、衛生環境の向上、教職員の資質向上のための図書費等に充当 ③消毒液、体温計等保健衛生用品追加購入 小2,643千円、中1,669千円 衛生環境向上備品等 小2,396千円、中1,231千円 教職員図書費等 小1,370千円、中300千円 ④小学6校、中学3校	I-1. マスク・消毒液等の確保	R3.2	R3.4以降	9,653	4,800	4,800		①学校保健特別対策事業に係る消耗品及び備品購入等により新型コロナウイルス感染症対策を行った。 ②市内小中学校における感染症対策を行い、生徒の学習保障等を図ることができた。